

令和8年度

# 予防接種手順書

(第Ⅱ章)

- ・間違い接種の報告等について
- ・健康被害救済制度について
- ・副反応の報告等について

奈良市 健康医療部 健康増進課

(0742-34-5129)

# 目 次

1. 定期予防接種時の間違い接種の報告について …………… P. 1～3
  
2. 健康被害救済制度について …………… P. 4～5
  
3. 予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて …………… P. 6～7

別 紙 1：予防接種間違い接種報告書 (医療機関から奈良市に提出)

## 【参考資料】

- ①別紙様式1：予防接種後副反応疑い報告書（医療機関から独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）にFAXで提出）
- ②別紙様式1記入要領
- ③別紙様式3：予防接種後に発生した症状に関する報告書（保護者報告用）
- ④急性散在性脳脊髄炎（ADEM）調査票
- ⑤ギラン・バレ症候群（GBS）調査票
- ⑥血栓症（血栓塞栓症を含む。）（血小板減少症を伴うものに限る。）（TTS）調査票
- ⑦心筋炎調査票
- ⑧心膜炎調査票

# 1. 定期予防接種時の間違い接種の報告について

## (1) 間違い接種の発生防止について

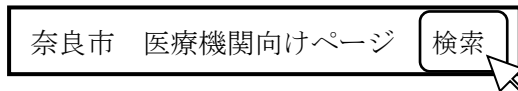
昨今、複数のワクチンが定期予防接種に導入され、ワクチンの種類によって接種間隔や接種回数、接種量、接種方法が異なっていること等から、予防接種に関する間違いが生じています。

それらの間違いを防ぐため、「予防接種における間違いを防ぐために」の冊子をご活用くださいますようお願いいたします。冊子は厚生労働省ホームページ（下記URL）からダウンロード可能です。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/keihatsu\\_tool/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/keihatsu_tool/index.html)

## (2) 間違い接種発生時の報告について（別紙1を使用）

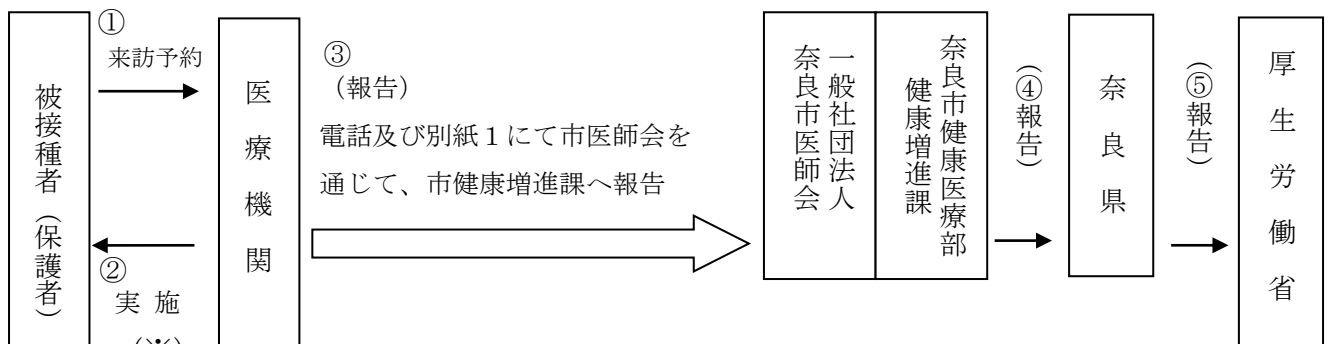
定期接種を実施する際、万が一、誤った用法用量ワクチンを接種した、接種期限の切れたワクチンを接種した等の間違い接種が発生した場合には、P2の別紙1「予防接種間違い接種報告書」を記載し、一般社団法人奈良市医師会（以下「市医師会」という。）を通じて奈良市（以下「市」という。）へ報告をお願いいたします。また、医療機関向けホームページ内の予防接種間違い接種報告フォームから電子による報告も可能です。



<参考>間違い接種の一例（下記は一例ですので、類似間違い接種の場合はお問い合わせください。）

- (ア)定期接種としての対象年齢や接種間隔の誤り
- (イ)ワクチンの取り違い
- (ウ)接種量の誤り
- (エ)接種方法の誤り
- (オ)母子健康手帳に記載されている接種歴の確認不足
- (カ)予診票確認の不備等による、対象者の誤認
- (キ)有効期限切れワクチンや注射器での接種
- (ク)ワクチン保管の不備
- (ケ)使用済注射器の再使用等、血液感染を起こしうるもの

図1：予防接種時の間違い接種報告の流れ



- ・医療機関 …被接種者及び保護者への謝罪並びに十分な説明、必要な処置、健康観察、再発防止策の検討及び実施
- ・市医師会、市…医療機関からの情報を把握及び共有、必要な指導の検討及び実施

(別紙1)

# 予防接種間違い接種報告書 (医療機関→奈良市)

令和 年 月 日作成

実施した機関	医療機関名			
	住所			
	代表者氏名			
	連絡先			
ワクチン	ワクチンの種類		メーカー名	
	ロット番号		有効年月日	
接種日	年 月 日	接種時の月齢	歳	か月
フリガナ			生年月日	昭和・平成・令和
被接種者名				年 月 日
間違い接種の概要と原因 (経緯を記載)				
被接種者及び保護者への説明・対応(※1)	任意接種となることについて、医師から説明を受けて保護者(被接種者)は納得されましたか(□はい・□いいえ) ※あてはまる方に✓してください			
間違い接種発生時の対応(※2)				
健康被害	健康被害の有無	□無 □有(下記に内容を記載すること)		
	内容			
再発防止に向けての今後の取り組み	(できるだけ具体的に記載すること)			

注) 記載欄が不足する場合は、任意の別紙に記入のうえ、この報告書に添付すること。

(※1) 有効性や安全性に問題があるかどうか、また、その後の対応等保護者(被接種者)に説明した内容を具体的に記入してください。

(※2) 市記載欄のため未記入でご提出ください。

事例によっては、詳細の確認のため電話等で問い合わせることがあります。

# 記入例

(別紙1)

## 予防接種間違い接種報告書 (医療機関→奈良市)

令和 8年 〇月 ×日作成

実施した機関	医療機関名	奈良クリニック		
	住所	奈良市△△町〇〇丁目〇〇番地		
	代表者氏名	奈良 太郎		
	連絡先	0742-12-3456		
ワクチン	ワクチンの種類	ヒブ	メーカー名	サノフィ
	ロット番号	R〇〇〇〇	有効年月日	2026年〇月×日
接種日		令和8年 〇月 ×日	接種時の月齢	1歳 2か月
フリガナ		ヤマト ハナコ	生年月日	昭和・平成・ <b>令和</b>
被接種者名		大和 花子		〇年 〇月 〇日
間違い接種の概要と原因 (経緯を記載)		定期予防接種における接種間隔の確認不足により、ヒブ感染症予防接種初回3回目から7か月あけるべきところを、6か月で接種をしてしまった。…①		
被接種者及び保護者への説明・対応 (※1)		保護者に定期的予防接種間隔で接種できていなかったことを謝罪し、効果や副反応については問題がないであろうことを説明した。また、何か気になることや、身体に症状等が現れた場合は受診するように伝えた。説明の結果、保護者から理解を得られた。…②  任意接種となることについて、医師から説明を受けて保護者(被接種者)は納得されましたか ( <input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ ) ※あてはまる方に <input checked="" type="checkbox"/> してください		
間違い接種発生時の対応 (※2)				
健康被害	健康被害の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (下記に内容を記載すること)		
	内容	有に <input checked="" type="checkbox"/> した場合は、記入してください。		
再発防止に向けての今後の取り組み		(できるだけ具体的に記載すること) 定期予防接種の接種間隔を把握し、母子健康手帳の接種履歴の確認を確実に行う。また接種間隔について記憶が定かではない場合は、事務手順書及び予防接種ガイドラインを見直す。スタッフ同士でもダブルチェックを行い再発防止に努める。…③		

**【注意点】**

①、②、③については、記載が不十分である場合は、再提出をお願いすることがありますので、詳細に記載してください。

事例によっては、詳細の確認のため電話等で問い合わせることがあります。

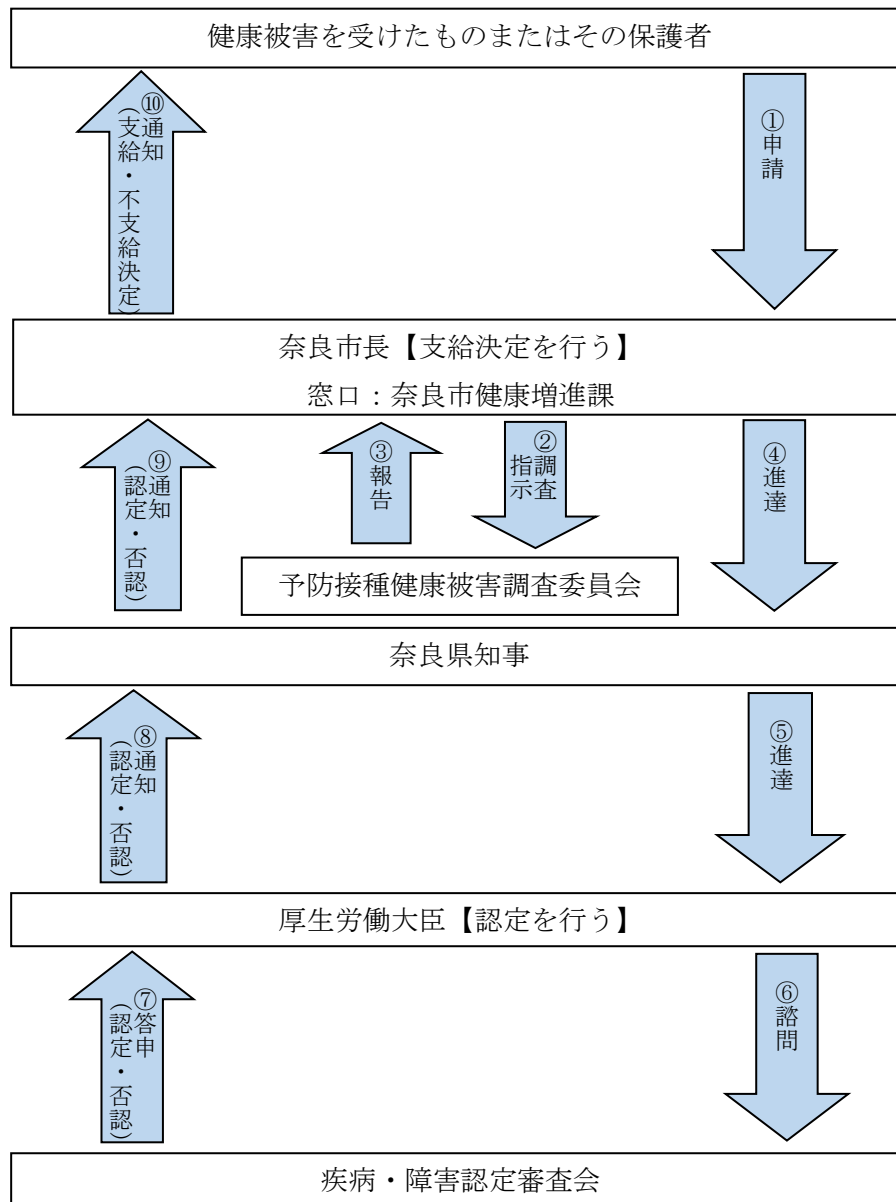
## 2. 健康被害救済制度について

予防接種の副反応による健康被害は極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものですので、接種に係る過失の有無にかかわらず、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を迅速に救済するものです。

### (1) 予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合

- ・本人または家族等から健康被害の申請に関する相談があった場合、市健康増進課への問い合わせを案内してください。
- ・本人または家族等が、市へ申請します。
- ・厚生労働大臣の認定にあたっては、第三者により構成される疾病・障害認定審査会により、因果関係に係る審査が行われます。
- ・健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市により給付が行われます。

図2：予防接種健康被害救済手続フロー（予防接種ガイドライン2025年度版P120より一部改変）

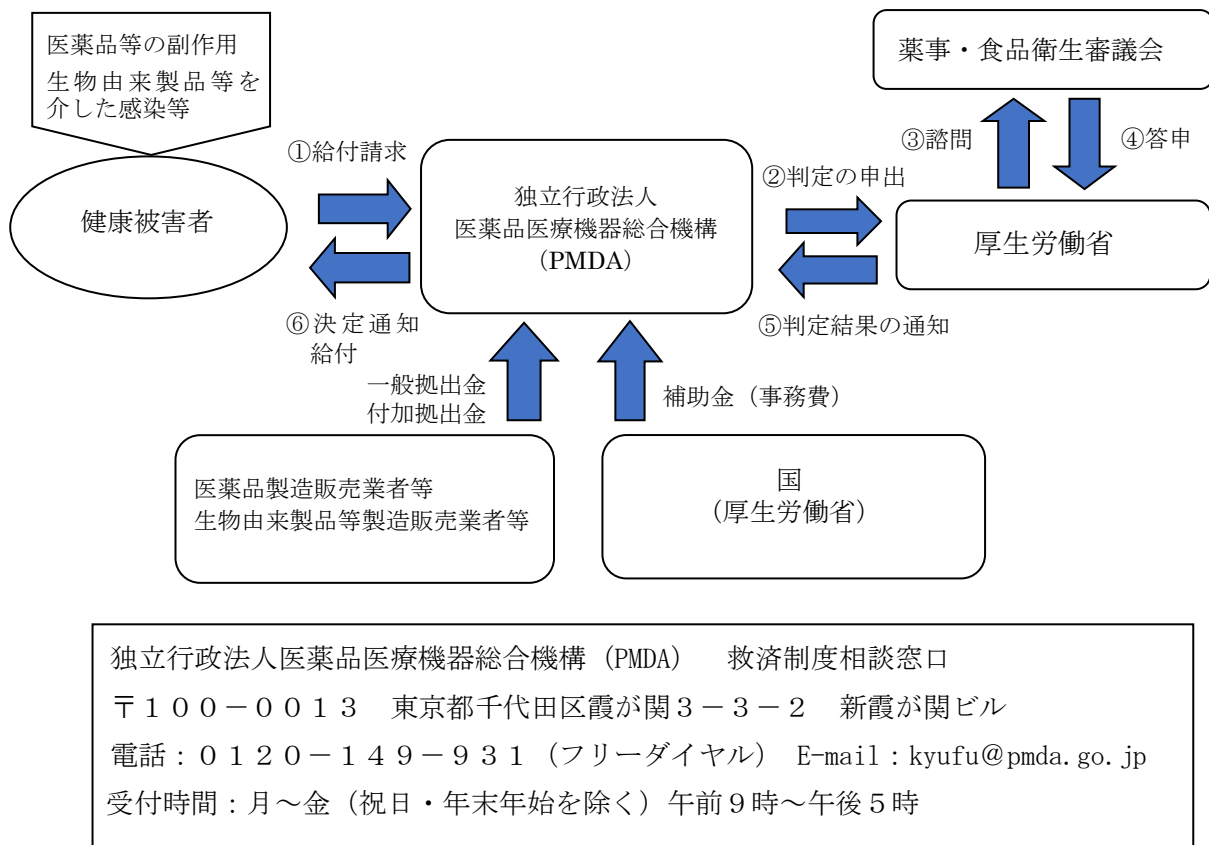


(2) 予防接種法に基づく定期接種以外の予防接種で健康被害が生じた場合

医療費、医療手当、障害年金等の救済給付を行い、被害者の迅速な救済を図ることを目的とし、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（平成14年法律第192号）に基づく公的制度が設けられています。

これに関しては、本人または家族等が直接、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）へ請求することになります。

図3：任意接種—請求から給付決定までのしくみ



【予防接種健康被害救済制度における受診証明書の記載について】

救済制度の申請・請求には、医療機関または薬局が記載する「受診証明書」が必要です。奈良県が作成した、予防接種健康被害救済制度における「受診証明書」の記載マニュアル（第3版）（<https://www.city.nara.lg.jp/uploaded/attachment/201974.pdf>）をご確認いただき、スムーズな受診証明書の発行にご協力をお願いします。

「任意接種」の場合は、必要書類が異なります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ（[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/)）をご覧ください。

予防接種健康被害救済制度についての詳細は、市のホームページ（下記 URL）からもご確認ください。  
<https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/94/107608.html>

### 3. 予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて（別紙様式1を使用）

予防接種法の一部を改正する法律（平成25年3月30日法律第8号）が施行され、平成25年4月1日より副反応（健康被害）発生時の報告が義務づけられました。

#### （1）定期の予防接種

予防接種後副反応等の症状を診断した場合には、医師等が電子報告システム（下記URL）にて独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）へ報告することとなっています。電子的な報告が困難な場合は予防接種の種類に関わらずFAX〔番号：（0120）176-146〕にて報告してください。同時に市および市医師会への連絡もお願いいたします。

<https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/0002.html>

この報告は、患者に予防接種を行った医師等以外の医師等も行うことができます。

※別紙様式1（次ページ以降添付）は独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ（下記URL）からダウンロード可能です。

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/youshikiDownload/gyoumuSelDispList/16>

もしくは国立健康危機管理研究機構（JIHS）のホームページ（下記URL）からダウンロードできる予防接種後副反応疑い報告書入力アプリにて作成した様式を使用して報告してください。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/6366-vaers-app.html>

また、いずれの手段による報告であっても、副反応等の症状が急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、ギラン・バレ症候群（GBS）、血栓症（TTS）、心筋炎又は心膜炎と疑われる場合は、各種別紙調査票を使用して報告してください。なお、心筋炎及び心膜炎がともに疑われる場合は、心筋炎調査票及び心膜炎調査票の両方を作成して報告してください。

（予防接種ガイドライン2025年度版P44～47より一部引用）

（予防接種必携 令和7年度 P62～65より一部引用）

#### （2）任意接種

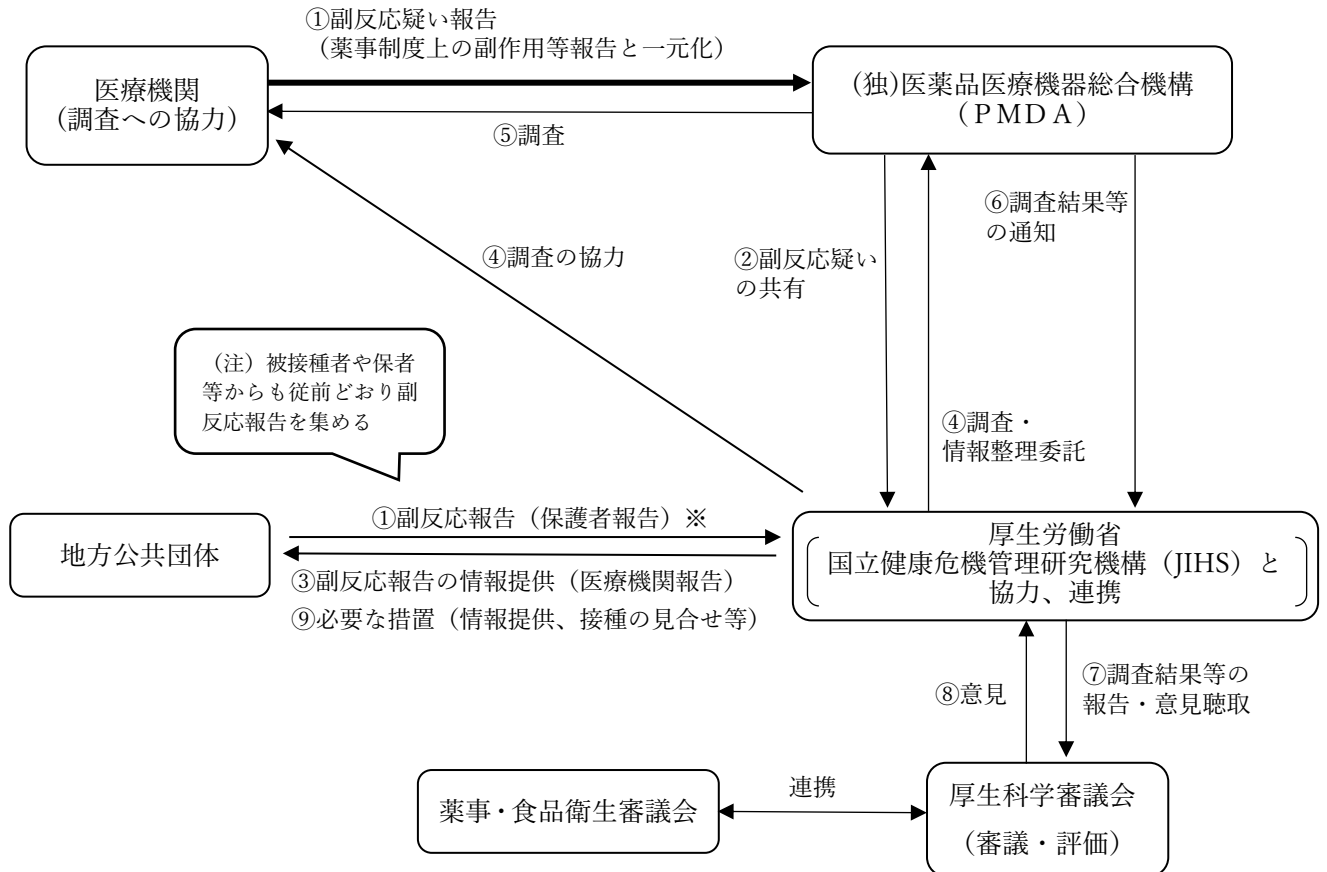
予防接種法に基づく定期接種以外の予防接種においても、予防接種ワクチンの使用による副作用、感染症の発生について、保健衛生上の危害の発生または拡大を防止する観点から報告の必要があると判断した情報（症例）＜以下の①～⑨の事項（症例）を参考＞については別紙様式1及びADEM・GBS・TTS・心筋炎・心膜炎調査票並びに別紙様式2を用い、医師等が独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）へ報告をお願いします。

なお、ワクチンとの因果関係が必ずしも明確でない場合であっても報告の対象となります。

- ① 死亡
- ② 障害
- ③ 死亡につながるおそれのある症例
- ④ 障害につながるおそれのある症例
- ⑤ 治療のために病院または診療所への入院または入院期間の延長が必要とされる症状（③及び④に掲げる症例を除く。）
- ⑥ ①から⑤までに掲げる症例に準じて重篤である症例
- ⑦ 後世代における先天性の疾病又は異常
- ⑧ 当該医薬品の使用によるものと疑われる感染症による症例等の発生
- ⑨ ①から⑧までに示す症例以外で、軽微ではなく、かつ、添付文書等から予測できない未知の症例等の発生

- ・副反応疑い報告（予防接種法）と副反応報告（医薬品医療機器等法）を（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）に一元化し、医療機関の報告義務を簡素化。
- ・報告を受けた副反応報告の個別事例について、厚生労働省が（独）医薬品医療機器総合機構（PMDA）に情報整理及び調査を委託。
- ・厚生科学審議会が薬事・食品衛生審議会と連携して副反応報告に係る評価を行ったうえで、厚生労働省が必要な措置を行う。

図4：副反応の報告の流れ



※別紙様式3は、市町村が被接種者又は保護者から定期の予防接種後に発生した健康被害に関し相談を受けた場合等に、必要に応じて被接種者又は保護者に記入するよう促し、都道府県を通じて厚生労働省へ電子メール（メールアドレス：yoboseshu@mhlw.go.jp）にて報告するために使用します。

予防接種後副反応疑い報告書

予防接種法上の定期接種・臨時接種、任意接種の別		<input type="checkbox"/> 定期接種・臨時接種		<input type="checkbox"/> 任意接種		
患者 (被接種者)	氏名又は イニシャル (姓・名)	フリガナ <small>(定期・臨時の場合は氏名、任意の場合はイニシャルを記載)</small>	性別	1 男 2 女	接種時 年齢	歳 月
	住所	都 道 府 県	区 市 町 村	生年月日	T H S R	年 月 日生
報告者	氏 名	1 接種者 (医師) 2 接種者 (医師以外) 3 主治医 4 その他( )				
	医療機関名				電話番号	
	住 所					
接種場所	医療機関名					
	住 所					
ワクチン	ワクチンの種類 (②~④は、同時接種したものを記載)		ロット番号	製造販売業者名	接種回数	
	①				① 第 期( 回目)	
	②				② 第 期( 回目)	
	③				③ 第 期( 回目)	
	④				④ 第 期( 回目)	
接種の状況	接種日	平成・令和 年 月 日	午前・午後 時 分	出生体重	グラム <small>(患者が乳幼児の場合に記載)</small>	
	接種前の体温	度 分	家族歴			
	予診票での留意点(基礎疾患、アレルギー、最近1ヶ月以内のワクチン接種や病気、服薬中の薬、過去の副作用歴、発育状況等)					
	1 有 → 2 無					
症 状 の 概 要	症 状	定期接種・臨時接種の場合で次頁の報告基準に該当する場合は、ワクチンごとに該当する症状に○をしてください。 急性散在性脳脊髄炎、ギラン・バレー症候群、血栓症(血栓塞栓症を含む。)(血小板減少症を伴うものに限る。)、心筋炎又は 心膜炎に該当する場合は、各調査票を記入のうえ、提出してください。 報告基準にない症状の場合又は任意接種の場合(症状名: )				
	発生日時	平成・令和 年 月 日	午前・午後 時 分			
	本剤との 因果関係	1 関連あり 2 関連なし 3 評価不能	他要因(他の 疾患等)の可 能性の有無	1 有 → 2 無		
	概要(症状・徴候・臨床経過・診断・検査等)					
	○製造販売業者への情報提供 : 1 有 2 無					
症 状 の 程 度	1 重い →	1 死亡 2 障害 3 死亡につながるおそれ 4 障害につながるおそれ 5 入院 ( 病院名: 医師名: 平成・令和 年 月 日 入院 / 平成・令和 年 月 日 退院 ) 6 上記1~5に準じて重い 7 後世代における先天性の疾病又は異常				
		2 重くない				
症 状 の 転 帰	転帰日	平成・令和 年 月 日				
	1 回復 2 軽快 3 未回復 4 後遺症(症状: ) 5 死亡 6 不明					
報告者意見						
報告回数	1 第1報 2 第2報 3 第3報以後					

(別紙様式1)

対象疾病	症 状	発生までの時間	左記の「その他の反応」を選択した場合の症状	
報告基準 (該当するものの番号に「○」を記入)	ジフテリア 百日せき 急性灰白髄炎 破傷風 Hib感染症 (Hib感染症においては、5種混合ワクチンを使用する場合に限る。)	1 アナフィラキシー 2 脳炎・脳症 3 けいれん 4 血小板減少性紫斑病 5 その他の反応	4時間 28日 7日 28日 —	左記の「その他の反応」を選択した場合  a 無呼吸 b 気管支けいれん c 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) d 多発性硬化症 e 脳炎・脳症 f 脊髄炎 g けいれん h ギラン・バレー症候群 i 視神経炎 j 顔面神経麻痺 k 末梢神経障害 l 知覚異常 m 血小板減少性紫斑病 n 血管炎 o 肝機能障害 p ネフローゼ症候群 q 喘息発作 r 間質性肺炎 s 皮膚粘膜眼症候群 t ぶどう膜炎 u 関節炎 v 蜂巣炎 w 血管迷走神経反射 x a～w以外の場合は前頁の「症状名」に記載
	麻しん 風しん	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 血小板減少性紫斑病 6 その他の反応	4時間 28日 28日 21日 28日 —	
	日本脳炎	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 血小板減少性紫斑病 6 その他の反応	4時間 28日 28日 7日 28日 —	
	結核 (BCG)	1 アナフィラキシー 2 全身播種性BCG感染症 3 BCG骨炎 (骨髄炎、骨膜炎) 4 皮膚結核様病変 5 化膿性リンパ節炎 6 髄膜炎 (BCGによるものに限る。) 7 その他の反応	4時間 1年 2年 3か月 4か月 — —	
	Hib感染症 (Hib単独ワクチンを使用する場合に限る。) 小児の肺炎球菌感染症	1 アナフィラキシー 2 けいれん 3 血小板減少性紫斑病 4 その他の反応	4時間 7日 28日 —	
	ヒトパピローマウイルス 感染症	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 3 ギラン・バレー症候群 4 血小板減少性紫斑病 5 血管迷走神経反射 (失神を伴うもの) 6 疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状 7 その他の反応	4時間 28日 28日 28日 30分 — —	
	水痘 帯状疱疹	1 アナフィラキシー 2 血小板減少性紫斑病 3 無菌性髄膜炎 (帯状疱疹を伴うもの) 4 その他の反応	4時間 28日 — —	
	B型肝炎	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 3 多発性硬化症 4 脊髄炎 5 ギラン・バレー症候群 6 視神経炎 7 末梢神経障害 8 その他の反応	4時間 28日 28日 28日 28日 28日 28日 —	
	ロタウイルス感染症	1 アナフィラキシー 2 腸重積症 3 その他の反応	4時間 21日 —	
	インフルエンザ	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 脊髄炎 6 ギラン・バレー症候群 7 視神経炎 8 血小板減少性紫斑病 9 血管炎 10 肝機能障害 11 ネフローゼ症候群 12 喘息発作 13 間質性肺炎 14 皮膚粘膜眼症候群 15 急性汎発性発疹性膿疱症 16 その他の反応	4時間 28日 28日 7日 28日 28日 28日 28日 28日 28日 28日 28日 24時間 28日 28日 28日 —	
	高齢者の肺炎球菌感染症	1 アナフィラキシー 2 ギラン・バレー症候群 3 血小板減少性紫斑病 4 注射部位壊死又は注射部位潰瘍 5 蜂巣炎 (これに類する症状であって、上腕から前腕に及ぶものを含む。) 6 その他の反応	4時間 28日 28日 28日 7日 —	
	新型コロナウイルス感染症	1 アナフィラキシー 2 血栓症 (血栓塞栓症を含む。) (血小板減少症を伴うものに限る。) 3 心筋炎 4 心膜炎 5 熱性けいれん 6 その他の反応	4時間 28日 28日 28日 7日 —	

(別紙様式1)

<注意事項>

1. 報告に当たっては、記入要領を参考に、記入してください。
2. 必要に応じて、適宜、予診票等、接種時の状況の分かるものを添付してください。
3. 報告書中の「症状名」には、原則として医学的に認められている症状名を記載してください。
4. 報告時点で、記載された症状が未回復である場合には「未回復」の欄に、記載された症状による障害等がある場合には「後遺症」の欄に記載してください。
5. 報告基準にある算用数字を付している症状については、「その他の反応」を除き、それぞれ定められている時間までに発症した場合は、因果関係の有無を問わず、国に報告することが予防接種法等で義務付けられています。
6. 報告基準中の「その他の反応」については、①入院、②死亡又は永続的な機能不全に陥る又は陥るおそれがある場合であって、それが予防接種を受けたことによるものと疑われる症状について、報告してください。なお、アルファベットで示した症状で該当するものがある場合には、○で囲んでください。
7. 報告基準中の発生までの時間を超えて発生した場合であっても、それが予防接種を受けたことによるものと疑われる症状については、「その他の反応」として報告してください。その際には、アルファベットで例示した症状で該当するものがある場合には、○で囲んでください。
8. 報告基準は、予防接種後に一定の期間内に現れた症状を報告するためのものであり、予防接種との因果関係や予防接種健康被害救済と直接に結びつくものではありません。
9. 記入欄が不足する場合には、別紙に記載し、報告書に添付してください。
10. 報告された情報については、厚生労働省、国立健康危機管理研究機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構で共有します。また、患者(被接種者)氏名、生年月日を除いた情報を、製造販売業者に提供します。報告を行った医療機関等に対し、医薬品医療機器総合機構又は製造販売業者が詳細調査を行う場合があります。
11. 報告された情報については、ワクチンの安全対策の一環として、広く情報を公表することがありますが、その場合には、施設名及び患者のプライバシー等に関する部分は除きます。
12. 患者に予防接種を行った医師等以外の医師等も予防接種を受けたことによるものと疑われる症状を知った場合には報告を行うものとされています。なお、報告いただく場合においては、把握が困難な事項については、記載いただくことなく結構です。
13. ヒトパピローウイルス感染症の予防接種に関する注意事項は以下のとおりです。
  - ・広範な慢性の疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状を呈する患者を診察した際には、ヒトパピローウイルス感染症の定期の予防接種又は任意接種を受けたかどうかを確認してください。
  - ・ヒトパピローウイルス感染症の定期接種にあつては、接種後に広範な慢性的疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状が発生する場合があるため、これらの症状と接種との関連性を認めた場合、報告してください。
  - ・ヒトパピローウイルス感染症の任意接種にあつては、接種後に広範な慢性的疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状が発生した場合、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10第2項の規定に基づき、薬局開設者、病院若しくは診療所の開設者又は医師、歯科医師、薬剤師その他の医薬関係者は、速やかに報告してください。
  - ・ヒトパピローウイルス感染症の定期接種(キャッチアップ接種を含む。)にあつては、交互接種の後に生じたものである場合、別紙様式1「接種の状況」欄に予診票での留意点としてその旨を明記してください。
  - ・ヒトパピローウイルス感染症のキャッチアップ接種において、過去に接種したヒトパピローウイルス様粒子ワクチンの種類が不明の場合については、結果として、異なる種類のワクチンが接種される可能性があるため、別紙様式1「接種の状況」欄に予診票での留意点として過去に接種したヒトパピローウイルス様粒子ワクチンの種類が不明である旨を明記してください。
14. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構ウェブサイト上に報告に係る記入要領を示しているため、報告にあたっては参照してください。
15. 新型コロナワクチンについては、これまでワクチン接種との因果関係が示されていない症状も含め、幅広く評価を行っていく必要があることから、当面の間、以下の症状については規定による副反応疑い報告を積極的に検討するとともに、これら以外の症状(遅発性の症状又は遷延する症状を含む。)についても必要に応じて報告を検討してください。

けいれん(ただし、熱性けいれんを除く。)、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、血小板減少性紫斑病、血管炎、無菌性髄膜炎、脳炎・脳症、脊髄炎、関節炎、顔面神経麻痺、血管迷走神経反射(失神を伴うもの)

また、血栓症(TTS(血栓塞栓症を含み、血小板減少症を伴うものに限る。))、心筋炎又は心膜炎について報告する場合には、別紙様式1記入要領別表の記載も踏まえ、別紙様式1に加えて、血栓症(TTS)調査票、心筋炎調査票又は心膜炎調査票をそれぞれ作成し、報告してください。ただし、心筋炎及び心膜炎がともに疑われる場合には、心筋炎調査票及び心膜炎調査票の両方を作成して報告してください。なお、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ウェブサイト上に新型コロナワクチンに係る報告の記載例を示しているため、報告にあたっては参照してください。
16. 電子報告システム(報告受付サイト)による報告は、以下の独立行政法人医薬品医療機器総合機構ウェブサイトよりアクセスし、報告を作成、提出してください。  
URL: <https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/0002.html>
17. 電子報告が困難な場合は、FAXにて、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の下記宛に送付してください。その際、報告基準に係る表についても、併せて送付してください。  
FAX番号:0120-176-146(各種ワクチン共通)

(別紙様式1 記入要領)

### 予防接種法上の定期接種・臨時接種、任意接種の別

定期接種・臨時接種か、任意接種かの別について、該当する方に印を付けてください。

### 患者（被接種者）

- ・氏名又はイニシャル

定期接種・臨時接種後に症状を認めた場合にはその患者の氏名を、また、任意接種後に症状を認めた場合にはその患者のイニシャルを記入してください。

- ・性別

患者の性別について、該当する番号に○印を記入してください。不明の場合は記入しないでください。

- ・接種時年齢

患者の予防接種時の年齢を記入してください。0歳児については、月齢まで記入してください。

- ・住所

患者の住所を市町村名まで記入してください。

- ・生年月日

患者の生年月日を記入してください。

### 報告者

- ・氏名

副反応疑い報告書を作成した者の氏名（法人である場合は法人名）を記入してください。また、報告者と患者との関係について、該当する番号に○印を記入してください。「その他」の場合には、具体的に記入してください。

- ・医療機関名

副反応疑い報告書を作成した者の所属（報告者が法人である場合には、開設。以下同じ。）する医療機関名を記入してください。

- ・電話番号

副反応疑い報告書を作成した者の所属する医療機関の電話番号を記入してください。

- ・住所

副反応疑い報告書を作成した者の所属する医療機関の所在地を記入してください。

### 接種場所

- ・医療機関名

患者が予防接種を受けた医療機関名を記入してください。接種を受けた場所が、医療機関ではない場合には、その具体的な場所や名称を記入してください。

- ・住所

患者が予防接種を受けた医療機関の所在地を記入してください。

## ワクチン

### ・ワクチンの種類

患者に接種したワクチンの種類を記入してください。

同時接種をしたワクチンがある場合には、①に報告者が最も症状と関係があると考えられるワクチンの種類を、②～④には、その他の同時接種をしたワクチンの種類を記入してください。なお、どのワクチンが症状と関係があるかどうか判断がつかない場合には、①～④に記入するワクチンの種類の順番は問いません。

なお、同時接種をしたワクチンが5つ以上ある場合には、適宜、余白や別紙に記載し、あわせて報告してください。

### ・各ワクチンのロット番号

患者に接種したワクチンのロット番号を記入してください。

### ・各ワクチンの製造販売業者名

患者に接種したワクチンの製造販売業者名（販売元ではない。）を記入してください。

### ・各ワクチンの接種回数

患者が受けた予防接種の接種回数（期）を記入してください。なお、患者の受けた予防接種が任意接種だった場合には、可能な限り記入をお願いします。

### ・同時接種するワクチンが5つ以上の場合は、様式の余白や別紙に記載の上、あわせて報告してください。

## 接種の状況

### ・接種日

患者が予防接種を受けた日時を記入してください。

### ・出生体重

患者の出生時の体重を記入してください。患者が乳幼児で無い場合には、記入の必要はありません。

### ・接種前の体温

患者の予診時の体温を記入してください。

### ・家族歴

患者の血縁関係のある者において、症状と関係があると考えられる疾病がある（過去にあった）場合は、記入してください。

### ・予診票での留意点（基礎疾患、アレルギー、最近1ヵ月以内のワクチン接種や病気、服薬中の薬、過去の副作用歴、発育状況等）

留意点の有無について、該当する番号に○印を記入してください。「有」を選択した場合には、その内容を具体的に記入してください。

なお、「最近1ヵ月以内のワクチン接種」については、症状の発生から1ヵ月以内に接種したワクチン（「ワクチンの種類」欄に記載したワクチンを除く。）の接種日、種類、ロット番号、製造販売業者名、接種回数を記入してください。

妊娠中の場合は、妊娠週数を記入してください。

ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種（キャッチアップ接種を含む。）に係る報告の際には、最近1ヶ月に限らず過去のヒトパピローマウイルス感染症の予防接種について、

接種日、種類、ロット番号、製造販売業者名を可能な限り記入（※）してください。なお、キャッチアップ接種において、過去に接種したワクチンの種類が不明の場合については、その旨を予診票での留意点に明記（※）してください。

新型コロナワクチンの2回目以降の接種の場合は、最近1ヶ月に限らず前回までの接種について、接種日、種類、ロット番号、製造販売業者名を可能な限り記入してください。

（※）の記載例：3回目接種後に報告する場合

1回目 接種日 ○年○月○日 ワクチンの種類 ○○○

2回目 接種日 ○年○月○日 ワクチンの種類 ○○○

（注）過去の接種記録は、予診票等を確認するなどして可能な限り記載してください。

## 症状の概要

### ・症状

患者の受けた予防接種が定期接種又は臨時接種だった場合

該当する症状名について、様式2ページ目の「報告基準」の中から該当する番号に○印を記入してください。この際、「その他の反応」を選択した場合には、右欄にある症状の例示の中から、該当するアルファベットに○印を記入してください。（複数の症状が該当する場合には、その全てに○印を記入してください。）重ねて本欄への記入は不要です。なお、該当するものが無く、xを選択した場合には、症状名の欄に具体的に症状名を記入してください。原則として医学的に認められている症状名を記載してください。

患者の受けた予防接種が任意接種だった場合

症状名の欄に具体的に症状名を記入してください。様式2ページ目に同じ症状名がある場合は、できる限り、様式2ページ目にある症状名で記載をお願いいたします。原則として医学的に認められている症状名を記載してください。

### ・発生日時

症状の発生した日時を記入してください。

### ・本剤との因果関係

予防接種と症状との因果関係について、報告者が該当すると考える番号に○印を記入してください。

### ・他要因（他疾患等）の可能性の有無

今回の症状が予防接種ではなく、他疾患の可能性があるかどうかについて、報告者が該当すると考える番号に○印を記入してください。「有」を選択した場合には、その内容を具体的に記入してください。

### ・概要（症状・徴候・臨床経過・診断・検査等）：詳細は別表参照

今回の症状の概要を詳しく記入してください。特に、別表に記載した代表的な臨床所見の有無及び代表的な検査の結果を記入してください。

また、新型コロナワクチンの2回目以降の接種後の概要について記載する場合は、当該接種時における接種前後の症状の概要に加え、前回までの接種時における接種前後の状況についても関連する症状の発生の有無その他特筆すべき状況について可能な範囲で記載してください。

・製造販売業者への情報提供

今回接種したワクチンの製造販売業者等に情報提供を行ったかどうか、該当する番号に○印を記入してください。不明の場合は、記入しないでください。

**症状の程度**

今回の症状の程度について、報告者が該当すると考える番号に○印を記入してください。「重い」を選択した場合には、その程度について該当する番号に○印を記入してください。なお、「入院」を選択した場合には、入院した病院名、担当医の氏名、入院日及び退院日を記入してください。

**症状の転帰**

今回の症状の転帰について、報告時点で判明している場合には、転帰日を記入するとともに、その内容について、該当する番号に○印を記入してください。報告時点で、記載された症状が未回復である場合には「未回復」の欄に、記載された症状による障害等がある場合には「後遺症」の欄に記載してください。

**報告者意見**

今回の症状の診断、因果関係の評価又は関連があると考えられるその他の事象について、記入してください。

**報告回数**

今回の症状を厚生労働省に報告する回数について、該当する番号に○印を記入してください。

別表 各症状の概要

症 状	疾病概要・臨床所見・検査所見	症状発生までの時間
アナフィラキシー	<p><u>疾病概要：</u> 即時型（I型）アレルギー反応を主たる発生機序とし、通常、抗原に曝露してから30分以内（場合によっては数時間後）に突然に発症し、急速な症状の進行を伴う過敏反応である。</p> <p><u>代表的な臨床所見（複数臓器の症状を伴う）：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 皮膚又は粘膜症状</li> <li><input type="checkbox"/> 循環器症状</li> <li><input type="checkbox"/> 呼吸器症状</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1h01_r01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1h01_r01.pdf</a></p>	4時間
化膿性リンパ節炎（BCG）	<p><u>疾病概要：</u> 病原微生物のリンパ流への侵入により、リンパ節に炎症を起こし、化膿した状態である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p>	4か月

	<input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、倦怠感） <input type="checkbox"/> 局所症状（例；リンパ節での膿瘍、瘻孔の形成） <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 血液検査	
肝機能障害	<u>疾病概要：</u> 発生機序を問わず、肝機能に異常を来した状態の総称である。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；例発熱、倦怠感、黄疸） <input type="checkbox"/> 腹部・消化器症状（例；嘔気・嘔吐、肝腫大） <input type="checkbox"/> 皮膚層状（例；皮疹、掻痒感） 等 <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 血液検査：AST、ALT の変動 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：薬物性肝障害 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1i01_r01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1i01_r01.pdf</a>	28日
間質性肺炎	<u>疾病概要：</u> 肺の支持組織の炎症性病変を示す疾患群である。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱） <input type="checkbox"/> 呼吸症状（例；咳嗽、呼吸困難） 等 <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 血液検査：白血球数の増加、低酸素血症 <input type="checkbox"/> 培養検査（血液、喀痰） <input type="checkbox"/> 画像検査（単純X線、CT）：びまん性の陰影 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：間質性肺炎 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1b01_r01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1b01_r01.pdf</a>	28日
急性散在性 脳脊髄炎（A DEM）	<u>疾病概要：</u> 自己免疫的な機序により、急性に脳・脊髄・視神経を含む中枢神経系に散在性に脱髄と炎症を来す疾患である。 <u>代表的な臨床所見（通常は单相性の臨床像）：</u> <input type="checkbox"/> 中枢神経症状（例；意識障害、痙攣、小脳失調） <input type="checkbox"/> 脊髄症状（例；対麻痺、病的反射） <input type="checkbox"/> 末梢神経症状（例；脳神経症状） 等 <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 病理検査；中枢神経系の脱髄巣、細胞浸潤 <input type="checkbox"/> 血液検査；白血球増多、赤沈亢進 <input type="checkbox"/> 髄液検査；リンパ球優位の細胞数増多 <input type="checkbox"/> 画像検査；MRI による散在性の白質病変 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：急性散在性脳脊髄炎 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c37.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c37.pdf</a>	28日
急性汎発性 発疹性膿疱 症	<u>疾病概要：</u> 高熱とともに急速に全身性に小膿疱を有する浮腫性紅斑やびまん性紅斑が多発する疾患である。通常粘膜疹は伴わない。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；高熱、急速に全身に多発する紅斑 等） <input type="checkbox"/> 局所症状（例；紅斑上に多発する小膿疱 等） <u>代表的な検査所見：</u>	28日

	<input type="checkbox"/> 血液検査：好中球優位の白血球増多と炎症反応（CRP）の上昇等 <input type="checkbox"/> 病理検査：角層下膿疱、表皮内膿疱 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル 急性汎発性発疹性膿疱症 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1a13.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1a13.pdf</a>	
ギラン・バレー症候群	<u>疾病概要：</u> 感染等に続発して免疫異常を生じることにより起こる末梢神経系の炎症性脱髄性疾患である。 <u>代表的な臨床所見（通常は单相性の臨床像）：</u> <input type="checkbox"/> 両側性の筋力低下 <input type="checkbox"/> 腱反射の減弱 <input type="checkbox"/> 感覚障害 等 <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 髄液検査：蛋白細胞解離 <input type="checkbox"/> 電気生理検査：末梢神経伝導速度の遅延 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：ギラン・バレー症候群 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c17.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c17.pdf</a>	28日
けいれん	<u>疾病概要：</u> 全身又は一部の筋肉に生じる発作性の不随意運動である。その内容は多様であり、発生機序については不明な点が多い。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 意識消失 <input type="checkbox"/> 痙攣（全身性、緊張性、間代性、強直間代性、弛緩性） 等 <u>代表的な検査：</u> <input type="checkbox"/> 検温 <input type="checkbox"/> 画像検査 <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 脳波 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：痙攣・てんかん <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c25.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c25.pdf</a>	7日 （麻しん、風しんは、21日）
血管炎	<u>疾病概要：</u> 非特異性の炎症性変化で、繊維性肥厚や瘢痕化のために血管の閉塞や拡張性変化を生じ、多彩な病態を呈する疾患である。 <u>代表的な臨床所見（複数臓器の症状を伴う）：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、体重減少、全身倦怠感） <input type="checkbox"/> 大・中型血管の臓器症状（例；血圧異常、咬筋跛行、視力障害、急性腹症） <input type="checkbox"/> 小型血管の臓器症状（例；皮疹、多発性単神経炎、糸球体腎炎） 等 <u>代表的な検査：</u> <input type="checkbox"/> 病理検査 <input type="checkbox"/> 血管造影 <input type="checkbox"/> 血液検査 等	28日
血管迷走神経反射 （失神を伴うものに限る。）	<u>疾病概要：</u> 自律神経のバランスが崩れ、血圧の低下、徐脈が生じる病態であり、脳血流が低下して失神に至ることがある。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 失神 <input type="checkbox"/> 悪心 <input type="checkbox"/> 発汗 <input type="checkbox"/> 血圧の低下 等	30分

血小板減少性紫斑病	<p><u>疾病概要：</u>  発生機序を問わず、血小板が減少したために皮膚及び粘膜に紫斑を呈した状態の総称である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 紫斑  <input type="checkbox"/> その他の出血傾向（例；鼻出血、口腔内出血） 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u>  <input type="checkbox"/> 血液検査：血小板の減少 等</p>	28日
脊髄炎	<p><u>疾病概要：</u>  脊髄の炎症性疾患の総称。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 疼痛                   <input type="checkbox"/> 感覚異常  <input type="checkbox"/> 筋力低下               <input type="checkbox"/> 排尿困難 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u>  <input type="checkbox"/> 髄液検査  <input type="checkbox"/> 画像検査 等</p>	28日
視神経炎	<p><u>疾病概要：</u>  視神経に起こる炎症により、視機能障害を引き起こす疾患。しばしば多発性硬化症の初発症状となる。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 視力低下               <input type="checkbox"/> 中心暗点  <input type="checkbox"/> 眼球運動痛 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u>  <input type="checkbox"/> 視力検査               <input type="checkbox"/> 眼底検査               <input type="checkbox"/> 視野検査  <input type="checkbox"/> 画像検査 等</p>	28日
髄膜炎（BCGによるものに限る。）	<p><u>疾病概要：</u>  髄膜炎のうち髄液からBCGが検出されるもの。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、頭痛、悪心・嘔吐 等）  <input type="checkbox"/> 中枢神経症状（例；意識障害、けいれん、項部硬直などの髄膜刺激症状）</p> <p><u>代表的な検査所見：</u>  <input type="checkbox"/> 髄液検査：細胞数増加、BCGの検出 等</p>	-
全身播種性BCG感染症	<p><u>疾病概要：</u>  BCGが全身に播種した状態である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱、咳嗽）  <input type="checkbox"/> リンパ節腫脹  <input type="checkbox"/> 病変部の臓器症状（肺、骨、皮膚等） 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u>  <input type="checkbox"/> 菌の証明（喀痰、胃液、胸水、髄液）  <input type="checkbox"/> 血液検査：炎症所見  <input type="checkbox"/> 画像検査：リンパ節腫大、空洞病変、粟粒陰影 等</p>	1年
喘息発作	<p><u>疾病概要：</u>  種々の刺激に対して気管、気管支の反応性が亢進していることを特徴とする疾患である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u>  <input type="checkbox"/> 呼吸症状  （例；呼吸困難、喘鳴、起座呼吸、チアノーゼ） 等</p>	24時間

	<p><u>代表的な検査所見：</u> 急性期には通常の検査で行うべき項目はなく、治療が優先される。</p>	
多発性硬化症	<p><u>疾病概要：</u> 中枢神経系の脱髄疾患であり、自己免疫性炎症性機序が関与していると考えられている。時間的・空間的多発性が特徴。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 視力障害</li> <li><input type="checkbox"/> 複視</li> <li><input type="checkbox"/> 四肢の麻痺</li> <li><input type="checkbox"/> 膀胱直腸障害</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 発達・知能指数</li> <li><input type="checkbox"/> 脳波検査</li> <li><input type="checkbox"/> 画像検査</li> <li><input type="checkbox"/> 誘発電位</li> <li><input type="checkbox"/> 髄液検査</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	28日
腸重積症	<p><u>疾病概要：</u> 口側腸管が肛門側腸管に引き込まれ、腸管壁が重なり合うことで引き起こされる疾患。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 全身症状（例；間欠的な不機嫌、啼泣等）</li> <li><input type="checkbox"/> 腹部・消化器症状（例；腹痛、嘔吐、血便等）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 画像検査：超音波検査における重積した腸管像、腹部X線における腸管ガスの分布異常、注腸造影検査における陰影欠損</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	21日
ネフローゼ症候群	<p><u>疾病概要：</u> 尿中に多量の血清タンパク成分を喪失する時にみられる共通の病態をいう臨床的概念である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 浮腫</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 病理検査</li> <li><input type="checkbox"/> 尿検査；蛋白尿</li> <li><input type="checkbox"/> 血液検査；低アルブミン血症</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：ネフローゼ症候群 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1e33.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1e33.pdf</a></p>	28日
脳炎・脳症	<p><u>疾病概要：</u> 急激な脳の機能不全によって生じる症候群であり、一般に脳実質の炎症所見を伴うものを脳炎、伴わないものを脳症と定義する。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 遷延する意識障害</li> <li><input type="checkbox"/> 脳圧亢進症状</li> <li><input type="checkbox"/> その他中枢神経症状</li> </ul> <p style="text-align: right;">（例；痙攣、大脳局在症状、髄膜刺激症候） 等</p> <p><u>代表的な検査：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 病理検査</li> <li><input type="checkbox"/> 画像検査</li> <li><input type="checkbox"/> 血液検査</li> <li><input type="checkbox"/> 脳波検査</li> <li><input type="checkbox"/> 髄液検査</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p><u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：小児の急性脳症 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1j21_r01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1j21_r01.pdf</a></p>	28日

BCG骨炎 (骨髄炎、骨膜炎)	<p><u>疾病概要：</u> BCGによる骨炎、骨髄炎、骨膜炎である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 局所症状（例；病変部の腫脹、疼痛、腫瘤等） 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 画像：骨の透亮像、膿瘍形成 等</p>	2年
皮膚結核様病変	<p><u>疾病概要：</u> 真性（正）皮膚結核や結核疹等結核菌によって皮膚に起こる病変の総称である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 皮疹（全身性、限局性）</p> <p><u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 病理検査：類上皮肉芽腫、Langhans 巨細胞 等</p>	3か月
皮膚粘膜眼症候群	<p><u>疾病概要：</u> 原因の多くは医薬品と考えられ、全身症状とともに皮膚粘膜移行部に皮疹を呈する疾患である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；発熱） <input type="checkbox"/> 皮膚症状（例；多形滲出性紅斑、口唇のびらん） <input type="checkbox"/> 眼症状（例；結膜充血、眼脂） 等</p> <p><u>代表的な検査：</u> <input type="checkbox"/> 病理検査 <input type="checkbox"/> 血液検査 等</p> <p><u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：ステイブンス・ジョンソン症候群 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1a21.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1a21.pdf</a></p>	28日
注射部位壊死又は注射部位潰瘍	<p><u>疾病概要：</u> 注射部位を中心として蜂巣炎・蜂巣炎様反応（発赤、腫脹、疼痛、発熱等）があらわれ、壊死や潰瘍に至る症状。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 局所症状（例；病変部の壊死、潰瘍等） 等</p> <p><u>代表的な検査：</u> <input type="checkbox"/> 血液検査 等</p>	28日
蜂巣炎（これに類する症状であって、上腕から前腕に及ぶものを含む。）	<p><u>疾病概要：</u> 皮膚及び皮下組織等に生じる細菌感染症並びにそれに類する症状である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 局所症状（例；病変部の腫脹、疼痛、発赤等） 等</p> <p><u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 菌の証明 <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 画像：炎症所見 等</p>	7日
末梢神経障害	<p><u>疾病概要：</u> 末梢神経（運動神経、感覚神経、自律神経）の働きが低下するために起こる障害。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 運動障害（例；筋萎縮、筋力低下、弛緩性麻痺等）</p>	28日

	<input type="checkbox"/> 感覚障害（例；しびれ、疼痛、感覚鈍麻等） <input type="checkbox"/> 自立神経障害（例；排尿障害、発汗障害、起立性低血圧等） <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 髄液検査 <input type="checkbox"/> 生理学的検査 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：末梢神経障害 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c13.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c13.pdf</a>	
無菌性髄膜炎（帯状疱疹を伴うものに限る。）	<u>疾病概要：</u> 髄膜炎のうち髄液培養で細菌・真菌が検出されないもので、帯状疱疹をともなうものである。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 全身症状（例；高熱、頭痛、悪心・嘔吐 等） <input type="checkbox"/> 帯状疱疹 <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 髄液検査：細胞数増加、ワクチン株の水痘・帯状疱疹ウイルスの検出 等 <u>参考資料</u> 重篤副作用疾患別対応マニュアル：無菌性髄膜炎 <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c41.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/11/dl/tp1122-1c41.pdf</a>	-
疼痛又は運動障害を中心とする多様な症状	<u>疾病概要：</u> 接種部位以外を含む疼痛、運動障害を中心とする多様な症状である。ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じていると報告されている。多様な症状とは、具体的には、失神、頭痛、腹痛、発汗、睡眠障害、月経不正、学習意欲の低下、計算障害、記憶障害等である。	-
血栓症（血栓塞栓症を含む。）（血小板減少症を伴うものに限る。）	<u>疾病概要：</u> 脳静脈、脳静脈洞、内臓静脈等に血栓が生じる疾患であり、血小板減少を伴い、免疫学的機序が想定されている。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 局所症状（例：頭痛、霧視、錯乱、けいれん、息切れ、胸痛、下肢腫脹、下肢痛、持続的な腹痛） <input type="checkbox"/> 出血傾向（例：接種部位以外の皮膚の内出血、点状出血） <u>代表的な検査所見：</u> <input type="checkbox"/> 画像検査：静脈洞血栓、内臓静脈血栓 等 <input type="checkbox"/> 血液検査：血小板数減少、凝固異常（D-ダイマー、プロトロンビン時間、フィブリノゲン） 等 <u>参考資料</u> 日本脳卒中学会、日本血栓止血学会編 アストラゼネカ社 COVID-19 ワクチン接種後の血小板減少症を伴う血栓症の診断と治療の手引き・第2版 2021年6月 <a href="https://www.jsts.gr.jp/news/pdf/20210601_tts2_3.pdf">https://www.jsts.gr.jp/news/pdf/20210601_tts2_3.pdf</a>	28日
心筋炎	<u>疾病概要：</u> 心筋炎は、心筋を主座とした炎症性疾患である。 <u>代表的な臨床所見：</u> <input type="checkbox"/> 局所症状（例：急性発症の胸痛） <input type="checkbox"/> 全身症状（例：息切れ、動悸、倦怠感、腹痛、咳嗽、発汗、めまい/失神、浮腫、発熱） <u>代表的な検査：</u> <input type="checkbox"/> 画像検査：心臓超音波検査、心臓MRI検査、冠動脈検査	28日

	<p style="text-align: right;">等 等</p> <input type="checkbox"/> 血液検査：トロポニン、CK、CK-MB <input type="checkbox"/> 心電図検査 <u>参考資料</u> 日本循環器学会、日本胸部外科学会、日本小児循環器学会、日本心臓血管外科学会、日本心臓病学会、日本心不全学会 急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン（2009年改訂版） <a href="https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2009_izumi_d.pdf">https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2009_izumi_d.pdf</a>	
心膜炎	<p><u>疾病概要：</u> 心膜炎は、心臓周囲の膜である心膜に炎症が起こる疾患である。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <input type="checkbox"/> 局所症状（例：急性発症の胸痛） <input type="checkbox"/> 全身症状（例：息切れ、動悸、倦怠感、嘔気/嘔吐/下痢、咳嗽、発汗、浮腫、発熱）	28日
熱性けいれん	<p><u>疾病概要：</u> 主に乳幼児期に起こる発熱に伴うけいれんである。中枢神経系感染症などの明らかな原因が認められないもの。</p> <p><u>代表的な臨床所見：</u></p> <input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> けいれん、または脱力・一点凝視・眼球上転等の発作症状 等	7日
	<p><u>代表的な検査：</u></p> <input type="checkbox"/> 画像検査：心臓超音波検査、胸部CT検査 <input type="checkbox"/> 血液検査：CRP、ESR、D-ダイマー <input type="checkbox"/> 心電図検査 等 等	
	<p><u>参考資料</u> 日本小児神経学会熱性けいれん診療ガイドライン策定委員会 熱性けいれん診療ガイドライン 2015  <a href="https://www.childneuro.jp/modules/about/index.php?content_id=33">https://www.childneuro.jp/modules/about/index.php?content_id=33</a></p>	

(別紙様式3)

予防接種後に発生した症状に関する報告書 (保護者報告用)

患者 (予防接種を受けた者)	氏名		性別	1 男 2 女	接種時 年齢	歳	月		
	住所				生年月日	T H S R	年 月 日生		
	保護者氏名			電話番号					
予防接種を 実施した者 (医師名等)	氏名								
	医療機関名				電話番号				
	住所								
今回報告する 症状を診断 した医師  (※)接種者と 異なる場合	氏名	1 主治医 2 その他 ( )							
	医療機関名				電話番号				
	住所								
接種の状況	接種日	平成・令和	年	月	日	午前・午後	時 分	出生体重	グラム (患者が乳幼児の場合に記載)
	接種した ワクチンの種類				ワクチンの ロット番号				
	同時接種した ワクチン				同時接種した ワクチンの ロット番号				
	1 有	予防接種前の問診時での留意点(アレルギー・基礎疾患・発育・最近1カ月以内のワクチン接種や病気等)							
2 無									
今回報告する 症状の概要	診断名								
	発生時刻	平成・令和	年	月	日	午前・午後	時 分		
	概要(症状・徴候・臨床経過・診断・検査等)								
予 後	1 死亡 (剖検所見	)							
	2 入院 (病院名:	入院日			. . .			退院日 . . . )	
	3 後遺症 (	)							
	4 その他 (	)							
回復状況	1 回復している	2 まだ回復していない	3 不明						

## 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 調査票

1. 組織病理診断	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> びまん性または多発性の脱髄部位がみられる <input type="checkbox"/> その他( )
	<input type="checkbox"/> 未実施	
	<input type="checkbox"/> 不明	
2. 臨床症状	① 該当項目を全て選択	
	<input type="checkbox"/> 炎症性脱髄が原因と推定される <input type="checkbox"/> 初めての事象である(先行するワクチン接種の有無を問わない) <input type="checkbox"/> これまでに、下記にあげるような中枢神経系の脱髄疾患の既往がある <input type="checkbox"/> ADEM <input type="checkbox"/> 横断性脊髄炎 <input type="checkbox"/> 視神経炎 <input type="checkbox"/> 視神経脊髄炎 <input type="checkbox"/> 多発性硬化症 <input type="checkbox"/> clinically isolated syndrome(多発性硬化症における臨床的に初発の段階) <input type="checkbox"/> その他( )	
	<input type="checkbox"/> 臨床的に多巣性の中中枢神経系の障害(事象)である <input type="checkbox"/> 発熱により説明できない脳症(意識の変容や行動変化) <input type="checkbox"/> 不明	
	② 中枢神経系に帰することのできる限局性または多発性所見について、該当項目を全て選択	
	以下のいずれかの症状が初めて発現した日(平成・令和 年 月 日) <input type="checkbox"/> 脳症(例:意識レベルの低下または変容、嗜眠、または人格変化が24時間以上続く) <input type="checkbox"/> 限局性皮質徴候(失語症、失読症、失書症、皮膚盲などを含むが、これらに限らない) <input type="checkbox"/> 脳神経の単一または複数の異常 <input type="checkbox"/> 視野の単一または複数の欠損(小児であれば、他覚的な眼科的検査の代用も可能である) <input type="checkbox"/> 原始反射(バビンスキー徴候、眉間反射、口とがらし反射または吸引反射)の存在 <input type="checkbox"/> 運動麻痺(広汎性または限局性、限局性であることが多い) <input type="checkbox"/> 感覚異常(感覚レベルはある場合も、ない場合もある) <input type="checkbox"/> 深部腱反射の変化(反射減弱または亢進、反射の非対称性) <input type="checkbox"/> 小脳の機能障害(運動失調症、測定障害、小脳性眼振など) <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 不明	
3. 画像検査 (磁気共鳴画像診断(MRI)撮像)	<input type="checkbox"/> 実施	検査日(平成・令和 年 月 日)
		該当項目を全て選択
		<input type="checkbox"/> びまん性または多発性の白質病変が、T2強調画像・拡散強調画像(DWI)、もしくはFLAIR画像(T1強調画像によるガドリニウム増強はあってもなくてもよい)において認められる <input type="checkbox"/> 以下のような所見がある。(認められる所見を全て選択) <input type="checkbox"/> 大脳白質優位の、びまん性、境界不鮮明で、大きな(>1-2cm)病変を認める <input type="checkbox"/> 白質のT1低信号病変を認めない <input type="checkbox"/> 深部灰白質病変(例:視床または基底核)を認める
		<input type="checkbox"/> 以下の多発性硬化症のMRI基準の二つとも、もしくはいずれかを満たさない <MRIによる空間的多発の証明> 4つの中枢神経領域(脳室周囲、皮質直下、テント下、脊髄)のうち少なくとも2つの領域にT2病変が1個以上ある(造影病変である必要はない。脳幹あるいは脊髄症候を呈する患者では、それらの症候の責任病巣は除外する。) <MRIによる時間的多発の証明> 無症候性のガドリニウム造影病変と無症候性の非造影病変が同時に存在する(いつの時点でもよい。)。あるいは基準となる時点のMRIに比べてその後(いつの時点でもよい。))に新たに出現した症候性または無症候性のT2病変及び/あるいはガドリニウム造影病変がある。
		<input type="checkbox"/> その他( )
<input type="checkbox"/> 未実施		
<input type="checkbox"/> 不明		





7. 自己抗体の検査	<input type="checkbox"/> 実施	検査日(平成・令和 年 月 日)
		抗GM1抗体 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性
		抗GQ1b抗体 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性
	<input type="checkbox"/> その他( )	
<input type="checkbox"/> 未実施		
<input type="checkbox"/> 不明		
8. 先行感染の有無	<input type="checkbox"/> あり	発症日(平成・令和 年 月 日) 下記症状のうち、いずれか早い日を記載
		<input type="checkbox"/> 発熱
		<input type="checkbox"/> 上気道炎 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他( )
	<input type="checkbox"/> なし	
<input type="checkbox"/> 不明		

(別 表)

疾患の部位	疾患名
頭蓋内	がん性髄膜炎 脳幹脳炎
脊髄	梗塞、脊髄炎、圧迫
脊髄の前角細胞	脊髄灰白質炎(ポリオウイルス、ウエストナイルウイルス、その他のウイルス)
脊髄神経根	慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー 馬尾圧迫
末梢神経	高マグネシウム血症や低リン血症などの代謝障害 ダニ麻痺症 ヒ素、金、タリウムなどの重金属毒性 薬物誘発性ニューロパチー(ビンクリスチン、プラチナ化合物、ニトロフラントイン、パクリタキセルなど) ポルフィリン症 重篤疾患ニューロパチー(Critical Illness Neuropathy) 血管炎 ジフテリア
神経筋接合部	重症筋無力症 有機リン中毒 ボツリヌス中毒
筋肉	重症疾患ミオパチー(Critical Illness Myopathy) 多発性筋炎 皮膚筋炎 低/高カリウム血症

# 血栓症(血栓塞栓症を含む。)(血小板減少症を伴うものに限る。)(TTS)調査票

「血栓症(血栓塞栓症を含む。)(血小板減少症を伴うものに限る。)」について、ワクチンとの因果関係評価に重要な情報となるため、必ずすべての項目を記載いただくよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、記載にあたっては、関連する医療機関における接種の状況や経過などの情報を可能な限りまとめて、いずれかの医師等から、報告するようお願いいたします。

※新型コロナワクチン接種後に、新規に発症した症状/所見にチェックを入れ、発症日を西暦で記載。			
1. 臨床症状/所見	<input type="checkbox"/> 意識障害 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 視覚異常(霧視、複視など) ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 頭痛 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 精神症状 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 失語症・構音障害 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 痙攣 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 半側空間無視 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 運動失調性歩行 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 脳症 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> うっ血乳頭 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 眼球運動異常 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 顔面麻痺 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 局所運動麻痺 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 片麻痺 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 脳の機能の局在に一致した神経症状 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 胸痛 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 血圧低下 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 頻脈 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> チアノーゼ ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 突然死 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 不整脈 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 息切れ ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 頻呼吸 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 咯血 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 咳嗽 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 腹痛 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 悪心・嘔吐 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 下痢 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 腹部膨満 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 血便 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 腹水 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> 肝腫大 ( 年 月 日)		
	<input type="checkbox"/> 下肢の腫脹 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 四肢の疼痛、圧痛を伴う局所的な腫脹 ( 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 四肢の発赤/変色/熱感/圧痕を残す浮腫 ( 年 月 日) <input type="checkbox"/> 点状出血/皮下出血/紫斑/出血傾向 ( 年 月 日)	
	<input type="checkbox"/> その他 ( ) ( 年 月 日)		
	※発症日(上にチェックした症状のうち、いずれか早い日を記載。) 西暦 年 月 日		
2. 検査所見	初回検査日 ( 西暦 年 月 日)	経過中の最低値 <sup>*1</sup> または最高値 <sup>*2</sup>	
	<b>&lt;血算&gt;</b> スマアでの凝集所見	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未実施	
	白血球数 ( /μL)		
	赤血球数 ( ×10 <sup>4</sup> /μL)		
	血色素 ( g/dL)		
	ヘマトクリット (%)		
	血小板数 ( ×10 <sup>4</sup> /μL)	( ×10 <sup>4</sup> /μL) <sup>*1</sup>	
	平時の血小板数* *把握が可能な場合のみ記載。	( ×10 <sup>4</sup> /μL)	
	<b>&lt;凝固系検査&gt;</b> PT ( 秒)		
	PT-INR ( )	( ) <sup>*2</sup>	
APTT ( 秒)			
フィブリノゲン ( mg/dL)	( mg/dL) <sup>*1</sup>		
D-ダイマー ( μg/mL)	( μg/mL) <sup>*2</sup>		
FDP ( μg/mL)			
抗血小板第4因子抗体 (抗PF4抗体) 検査方法	検査日 ( 西暦 年 月 日) <input type="checkbox"/> 陽性 ( ) <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 検査中 ( 法) 例; ELISA法		
抗HIT抗体 (抗PF4-ヘパリン複合体抗体) 検査方法	検査日 ( 西暦 年 月 日) <input type="checkbox"/> 陽性 ( U/mL) <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 検査中 ( 法) 例; ラテックス凝集法、CLIA法		
SARS-CoV-2検査 検査方法	検査日 ( 西暦 年 月 日) <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="checkbox"/> 検査中 <input type="checkbox"/> 核酸増幅法 (PCR / LAMP) <input type="checkbox"/> 抗原定性検査 <input type="checkbox"/> 抗原定量検査 <input type="checkbox"/> その他( )		
その他の特記すべき検査	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 検査日 ( 西暦 年 月 日) ( )		

**超音波検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明  
 撮影部位  頸部  心臓  腹部  下肢  その他（ ）  
 血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**CT検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明  
 造影あり  造影なし

撮影部位  頭部  頸部  胸部  腹部  下肢  その他（ ）  
 血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**MRI検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明  
 造影あり  造影なし

撮影部位  頭部  頸部  胸部  腹部  下肢  その他（ ）  
 血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**3.画像検査****血管造影検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明

撮影部位（ ）

血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**肺換気血流シンチグラフィー**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明

血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**胸部X線検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明

血栓・塞栓症の所見  示唆する所見あり  なし

※肺門部肺動脈拡張、末梢肺血管陰影の消失、無気肺、心拡大等の所見があれば記載。

{ }

**その他の特記すべき検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施

血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※詳細な部位と所見を記載。

{ }

**4. 外科的処置/  
病理学的検査****外科的処置**

実施 処置日（西暦 年 月 日）  未実施  不明

処置名；（ ）例；血栓摘出術

血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※所見がある場合は詳細な部位とその所見を記載。

{ }

**病理学的検査**

実施 検査日（西暦 年 月 日）  未実施  不明

血栓・塞栓症の所見  あり  疑う  なし

※所見がある場合は詳細な部位とその所見を記載。

{ }

**診断病名**

(複数選択可)

- |   |                                 |                                  |
|---|---------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 脳静脈洞血栓症またはその他の脳静脈血栓症 | <input type="checkbox"/> 脳卒中    | <input type="checkbox"/> 深部静脈血栓症 |
| <input type="checkbox"/> 心筋梗塞                 | <input type="checkbox"/> 肺血栓塞栓症 | <input type="checkbox"/> 動脈血栓症   |
| <input type="checkbox"/> 腹腔内血栓症               | <input type="checkbox"/> その他( ) |                                  |

**除外した疾患**

- あり  なし

(複数選択可)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ヘパリン起因性血小板減少症 | <input type="checkbox"/> 血栓性微小血管症      |
| <input type="checkbox"/> 免疫性血小板減少症     | <input type="checkbox"/> 播種性血管内凝固症候群   |
| <input type="checkbox"/> 抗リン脂質抗体症候群    | <input type="checkbox"/> 発作性夜間ヘモグロビン尿症 |
| <input type="checkbox"/> その他( )        |  |

**COVID-19の罹患歴**

- あり ( 罹患時期 ; 西暦 年 月 日 )  なし  不明

**5. その他**

**ヘパリンの投与歴(発症日までの100日間の投与の有無を記載)**

- あり ( 最終投与日 ; 西暦 年 月 日 )  なし  不明  
( 投与理由 ; )

**血栓のリスクとなる因子**

- あり  なし  不明

※発症時に以下の状態があればチェックを入れ、疾患名を記載。

(複数選択可)

- |  |                               |  |  |
|--|-------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 妊娠/産褥期                    | <input type="checkbox"/> 脱水   | <input type="checkbox"/> 喫煙                  | <input type="checkbox"/> 中心静脈カテーテル留置(PICC* <sup>2</sup> を含む) |
| <input type="checkbox"/> 不動(長期臥床など)                | <input type="checkbox"/> 重症貧血 | <input type="checkbox"/> 糖尿病                 | <input type="checkbox"/> ホルモン治療または経口避妊薬内服                    |
| <input type="checkbox"/> 肥満 (BMI; )                |                               | <input type="checkbox"/> 外傷 (疾患名; )          |  |
| <input type="checkbox"/> 遺伝性血栓疾患 (疾患名; )           |                               | <input type="checkbox"/> 慢性肝疾患 (疾患名; )       |  |
| <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 (疾患名; )              |                               | <input type="checkbox"/> 最近の1年間の手術 (疾患名; )   |  |
| <input type="checkbox"/> 骨髄増殖性腫瘍 (疾患名; )           |                               | <input type="checkbox"/> 炎症疾患または免疫疾患 (疾患名; ) |  |
| <input type="checkbox"/> 感染症* <sup>1</sup> (疾患名; ) |                               | <input type="checkbox"/> その他( )              |  |

\*1 新型コロナウイルス感染症を除く

\*2 PICC: peripherally inserted central catheter







